

OTHER BUSINESS



グループフォーメーションの構築として「都市ガス」、「電力」、「リキッドガス」、「暮らしサービス」、「エンジニアリングサービス」、「地域開発サービス」、「海外」の7つの事業ドメインを明確化しました。その中から「エンジニアリングサービス事業」と「地域開発サービス事業」、「リキッドガス事業」についてご紹介します。

エンジニアリングサービス事業

お客さまニーズに沿ったエンジニアリングソリューションを提供するとともにエリアや事業領域の拡大を展開

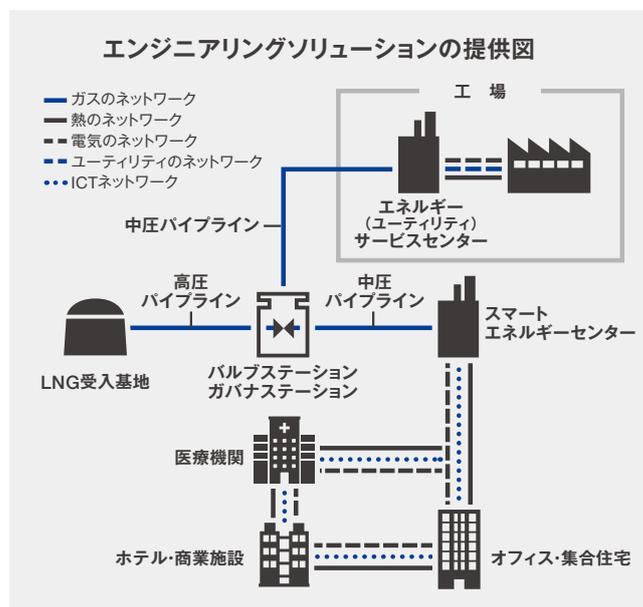
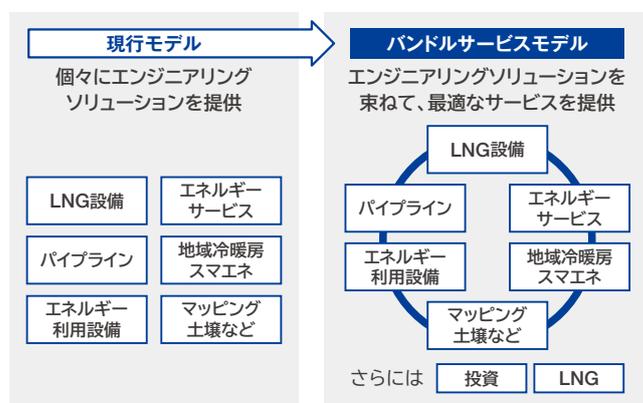
グループに分散していたエンジニアリング力とエネルギーソリューション力を集約し、2015年4月に発足した東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（以下、TGES）は、長年の経験により培った技術力を生かし、LNGバリューチェーンにおける「受入・製造～供給・発電～エネルギーソリューション」にわたる幅広い領域で、国内外のお客さまのニーズに合ったソリューションをワンストップで提供しています。

2017年4月には、新たに長野と福岡に営業所を開設しました。各地域のエネルギー事業者等と連携しながら、お客さまにエンジニアリングソリューションを提案・実施していきます。今後、国内における事業展開をさらに拡大させるとともに、海外における事業も広げていきます。

また、TGESが持つ様々なエンジニアリングソリューションを束ねて「バンドルサービス」としてワンストップで提案・実施できるよう事業を推進していきます。



※GAS MALAYSIA ENERGY ADVANCE Sdn. Bhd. (ガスマレーシア社：66%、TGES：34%)



蓄積してきたノウハウを生かした独自のエンジニアリングソリューション



国内

分散型エネルギー面的利用による、 大幅な省エネ・省CO₂の実現

コージェネレーションシステム（CGS）は発電時に発生する熱を活用できることがメリットで、大容量になるほど高効率となります。

一つの事業所では電気・熱のバランスから小型のCGSしか設置できない場合でも、エネルギーに対するニーズの異なるお客さまを組み合わせることで大型のCGSの導入ができ、単独では達成できないレベルの省エネを実現する可能性があります。

自家発電による電力のピークカット、非常時の電源確保などのニーズがあった日産自動車横浜工場様に、大型のガスコージェネレーションを設置して電力を供給。同時に発生する蒸気を公道を挟んで隣接し、熱需要が旺盛なJ-オイルミルズ横浜工場様へ供給するエネルギーサービス事業を2016年にスタートし、トータルで約3%の省エネルギーと約6%のCO₂排出量削減を実現しました。

また、宇都宮市の清原工業団地では3社7事業所に対してエネルギーサービスを行う、スマエネセンターを建設中です。内陸型工業団地における、異業種複数事業者に向けた電力と熱を供給する「工場間一体省エネ事業」は国内初となります。大型CGSとエネルギーマネジメントシステムの導入により、約20%省エネ、CO₂削減を見込んでいます。

従来のやり方にとらわれず、価値あるサービスを提供し省エネ省CO₂に貢献しています。



海外

エネルギーサービス事業

東レグループのマレーシアおよびアメリカの工場において、TGESの海外子会社が、エネルギーサービスを提供します。

エネルギーサービスとは、ガスコージェネレーションシステムやボイラ、空調、水処理などの設備を有するエネルギープラントを建設し、それを使って作り出した電気や蒸気、水等を一括して効率的に提供するサービスです。TGESの実績に基づいたプラントの設計やメンテナンスにより、最適なシステムによる省エネと長期にわたるコストの低減を実現するとともに、お客さまとの長期契約に基づいたエネルギーサービス料金を受け取ります。



エンジニアリング事業

タイPTTLNGのマブタプットLNG受入基地拡張工事におけるプロジェクト管理（PMC）業務を特命受注し、業務を遂行中です。LNG受入基地工事における日本企業のPMC業務の受注は、世界で初めてとなります。マブタプットLNG受入基地は、経済発展により国内エネルギーの需要増大が見込まれるタイで初のLNG受入基地です。

世界に先駆けLNG基地の建設・維持管理・運用等に長く取り組むことで積み上げてきた当社グループの経験と強みを生かして、海外での事業展開を推進しています。





地域開発サービス(不動産)事業

ポテンシャルの高い保有不動産を有効活用することで安定収益を追求

当社グループは、首都圏に田町や豊洲等、ポテンシャルの高い大規模不動産を保有しています。リスクを限定した保有不動産の開発と有効活用により資産価値向上を図ってきました。

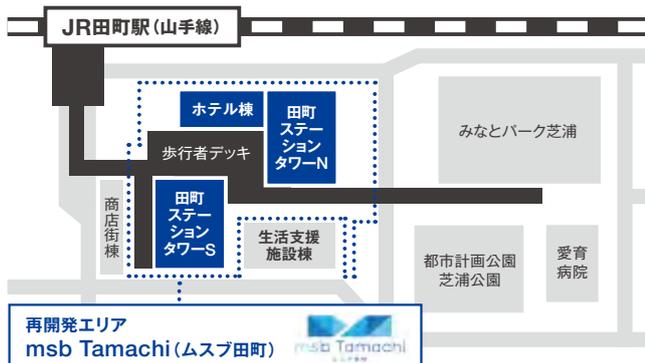
2017年4月には当事業を統括する東京ガス不動産ホールディングス株式会社を設立しました。当社グループの地域

開発サービス事業として、不動産の活用・管理等を通じた地域密着のエネルギー提案やまちづくりに貢献し、不動産業界の強みを持つプレーヤーと連携を進めながら、さらなる収益拡大を目指します。

田町 JR田町駅に直結した大規模再開発エリア

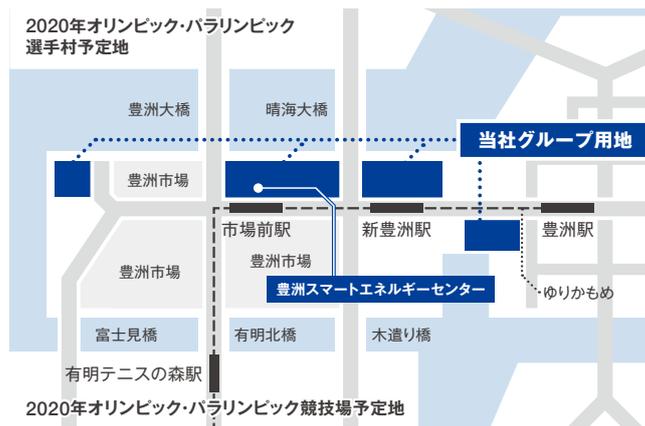
田町駅周辺エリアは、羽田空港やリニア中央新幹線の整備進展により、国際都市東京の玄関口としての役割が期待されています。駅前直結の2.8haの土地に、オフィス、ホテル、商業施設を建設中です。

2015年	10月	田町ステーションタワーS・ホテル棟・スマートエネルギーセンター	着工
2017年	夏	田町ステーションタワーN	着工
2018年	4月	スマートエネルギーセンター	竣工予定
2018年	5月	田町ステーションタワーS・ホテル棟	竣工予定
2018年	秋	ホテル	開業予定
2020年	春	田町ステーションタワーN	竣工予定



豊洲 世界中から注目を浴びる“五輪開催エリア”に複合市街地を計画

豊洲再開発エリアは東京駅から直線距離で約4kmの好立地にあり、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、豊洲を含む湾岸部には一層注目が高まっています。当社グループは約20haの広大な開発エリアにおいて、住宅・業務・商業などによる複合市街地の形成を目指します。





リキッドガス事業

LPG販売やLNG冷熱を活用した産業ガス製造・販売を行うリキッドガス事業および冷凍倉庫事業について、各事業の成長戦略の策定・推進機能を一元化し強化するため、2016年4月に東京ガスリキッドホールディングス株式会社を設立しました。

LPG販売事業については、営業力を強化するとともに、M&Aやアライアンスの推進等により、当社グループの収益の柱になることを目指しています。具体的には物流の効率化や保安レベル・顧客サービスの向上に資する新たな取組みとして、

LPG業界において様々な強みを持つプレーヤーと連携を進め、2020年を目途に、100万件のお客さま規模を目指します。そのうち30万件は東京ガスグループからの直売を目指します。

また、産業ガスについては、LNGの冷熱を有効活用して、安価で高品質な産業ガスを製造・供給するとともに、東京ガスのLNG・エンジニアリングサービス等を組み合わせ、大口のお客さまに対してワンストップでの提案を行うなど、販売力の向上を図っていきます。

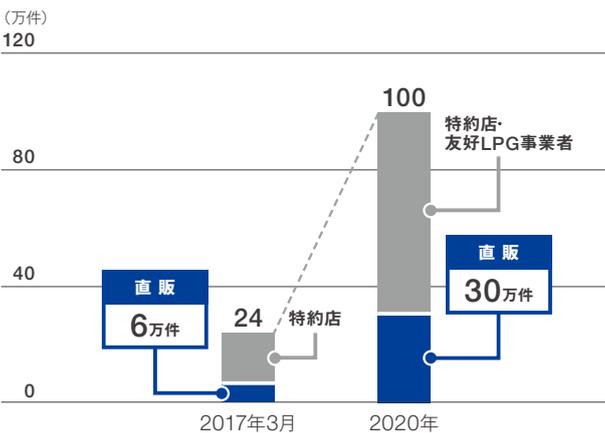
アライアンス

2016年10月	アストモスエネルギー株式会社と、包括的アライアンスに関する基本合意書を締結
2017年 2月	株式会社サイザンと、包括的アライアンスに関する基本合意書を締結

東京ガスリキッドホールディングス 組織図



LPG事業が目指すお客さま規模



日本超低温の冷凍倉庫